

MITSUBISHI

お客様用

三菱パイプ用ファン 浴室用 取扱説明書

形名 **V-12PPS6-TK**

■ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。

■添付別紙の「三菱電機 ご相談窓口・修理窓口のご案内」とともに保管してください。

この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

安全のために必ず守ること

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

 警告	誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの	 注意	誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの
 禁止	●内釜式風呂を据付けた浴室では使用しない (排気ガス逆流の原因になります) ●ガス漏れに気付いたときは、換気扇(電気器具その他)のスイッチの入・切をしない(爆発や引火の原因になります)	 禁止	●本体に異常な振動が発生した場合は使用しない (本体・部品の落下によるけがの原因になります) ●高温(40℃以上)になる場所や直接炎があたったり、油煙の多い場所や有機溶剤・可燃性ガスがかかる場所では使用しない (火災の原因になります) ●塩害・温泉害の発生している場所では使用しない (本体・部品の落下によるけがの原因になります)
 水ぬれ禁止	●製品を水につけたり、水をかけたりしない (ショートや感電の原因になります)	 接触禁止	●運転中は羽根の中に指や物を入れない (けがの原因になります)
 分解禁止	●改造や分解はしない (火災・感電・けがの原因となります) 修理はお買上げの販売店にご相談ください	 指示に従い必ず行う	●お手入れの際は手袋を着用する (着用しないとけがの原因になります) ●部品の取付けは確実に (落下によるけがの原因になります) ●長期間使用しない場合は、分電盤のブレーカーを切る (絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります)
 指示に従い必ず行う	●交流 100V を使用する (直流や交流 200V を使用すると感電の原因になります) ●お手入れの際は分電盤のブレーカーを切る (感電やけがの原因になります) ●異常・故障時には、直ちに使用を中止する そのまま使用すると発煙・発火、感電、けがに至るおそれがあります。 <異常・故障例>「愛情点検」を参照ください。		

ご使用にあたってのお願い

- 換気扇設置場所で中性以外の洗剤や消毒剤などを頻繁に使用すると製品の寿命が短くなる場合があります。
- お手入れに下記の溶剤・洗剤を使用しないでください。(中性洗剤をご使用ください)
シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、酸性洗剤、アルカリ性洗剤、化学ぞうきんの薬剤、クレンザーなどの研磨材入りの洗剤、殺菌剤、消毒剤など(異常音の発生、変質、変色、塗装はがれの原因)
- 本製品は外気侵入などを抑えるため、風圧式シャッターを設けています。風圧式シャッターは、急激なドアの開閉や外風の強い時などには、シャッター閉じ音が聞こえる場合がありますが、異常ではありません。

使用方法

運転は壁のスイッチで運転開始と停止を行います。

お手入れのしかた

グリル、羽根にほこりなどが付着しますと風量低下や異常音発生の原因になります。約4か月に1度を目安に清掃してください。

- 長い間ご使用の換気扇は、使用上支障がなくても安全のための点検(「愛情点検」を参照ください)をお願いします。

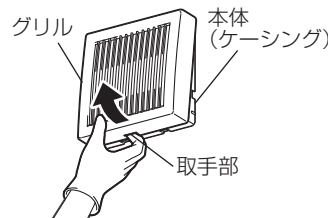
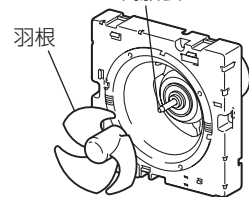
警告

- モーター軸の樹脂製カバー(白色)は抜いたり、傷付けたりしないでください。(感電やけがの原因になります)

注意

- 羽根の外周部には薄肉の部分があるため、お手入れの際は手袋を着用ください。(着用しないとけがの原因になります)

樹脂製カバー(白色)



1. 清掃部品のはずしかた

グリルを手前に引きながら斜めに持ち上げてはずす。

2. 清掃のしかた

1. グリルは中性洗剤を溶かしたぬるま湯(40℃以下)に浸して汚れを落としてからきれいな水で洗い、よく乾かす。
2. 羽根、本体は中性洗剤を溶かしたぬるま湯(40℃以下)に浸した布で汚れをふき取った後、洗剤が残らないように乾いた布でよくふく。

3. お手入れ後の取付け

1. 取付けは取りはずしと逆の順序で行う。
2. 取付け後、次の確認をする。
 - (1) グリルが確実に取付けられていますか。
 - (2) 異常な音が出ていませんか。(運転をして確認してください)

お願い

- お手入れの際、羽根に衝撃を与えたり、モーターの軸に無理な力をかけないでください。(異常音発生の原因になります)

故障かな?と思ったら

- 次のような症状があれば点検してください。点検・処置をしても直らない場合、または下記以外の現象が生じた場合は、事故防止のため分電盤のブレーカーを切り、お買上げの販売店または、工事店にお申しつけください。

こんなとき	原因	点検・処理
スイッチを入れても羽根が回転しない	分電盤のブレーカーが切れていませんか	「入」にします
運転中に異常音や振動がする	本体・グリルが確実に取付けられていますか	取付け直します
	羽根・グリルにほこり・異物が付着していませんか	清掃します
羽根が逆転する、回転が遅い、または不規則	外風の影響にて発生する可能性があります	無風状態で確認します
こげ臭いにおいがする	故障です運転停止してください	販売店または工事店へ連絡します
シャッターがばたつく	外風の影響にて発生する可能性があります	無風状態で確認します

- モーターの軸受は回転がなじんで時間が経つにつれ、音に変化することがありますが異常ではありません。

アフターサービス

ご不明な点や修理に関するご相談は、お買上げの販売店かお近くの「三菱電機 ご相談窓口・修理窓口のご案内」(別紙)にご相談ください。

※別紙チラシが不明な方は下記窓口にお問い合わせください。

■平日 9:00~12:00 13:00~19:00 (土・日・祝・弊社休日以外)

換気送風機技術相談センター 電話 0120-726-471
お客様相談センター 電話 0120-139-365

■その他の時間

長年ご使用いただくためには、換気扇のメンテナンスが必要です。モーターは消耗部品です。
●補修用性能部品の保有期間 当社は、このパイプ用ファンの補修用性能部品を製造打ち切り後6年保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

※電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

仕様

形名	周波数(Hz)	消費電力(W)	風量(m ³ /h)	騒音(dB)	質量(kg)	電圧
V-12PPS6-TK	50	6.3	145	33.5	0.90	100V
	60	7.0	170	37		

※特性は JIS C 9603 に基づく

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

〔本体への表示内容〕
※経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた右の内容表示を本体に表示しています。

〔設計上の標準使用期間とは〕
※運転時間や温湿度など、標準的な使用条件(右表による)に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
※本製品の設計上の標準使用期間は、製造年を始期とし、JIS C 9921-2 に基づいて右記の想定時間を用いて算出したもので、無償保証期間とは異なります。
また、偶発的な故障を保証するものでもありません。
●本製品は取扱説明書記載の設置場所の想定時間を用いて設計上の標準使用期間を算出しています。
●「経年劣化とは」長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。



【製造年】本体に西暦4ケタで表示してあります
【設計上の標準使用期間】15年
設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

■標準使用条件 JIS C 9921-2

環境条件	電圧	単相 100V	定格電圧による
	周波数	50Hz および 60Hz	定格周波数による
	温度	20℃	JIS C 9603 から引用
	湿度	65%	
	設置条件	標準設置	据付説明書による
負荷条件		定格負荷	「仕様」による
想定時間	1年間の使用時間	換気時間 ^{a)} 浴室 1671時間/年	

注^{a)} 24時間換気のもの、8760時間とする

愛情点検



☆長年ご使用の換気扇の点検を!

ご使用の際このようなことはありませんか。

- スイッチを入れても羽根が回転しない。
- 運転中に異常音や振動がする。
- 回転が遅いまたは不規則。(モーターはメンテナンスが必要な部品です)
- こげ臭いにおいがする。
- 本体取付部に腐食、破損等がある。

使用中止

故障や事故防止のため、電源を切って必ず販売店にご連絡ください。
点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

お客さま	形名	V-12PPS6-TK
メモ	お買上げ年月日	年 月 日
	お買上げ店名(住所)	() _____
	(電話番号)	() _____

この製品には地球環境保護の一環として再資源化ができるように主なプラスチック部品に材質名を表示しています。「材質名は主材料にISO規定の略号を使用」

三菱電機株式会社

中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号

この説明書は、再生紙を使用しています。

1010875HB9901

MITSUBISHI

三菱パイプ用ファン 〈壁取付け専用〉

浴室用 据付説明書

工事店様用

形名 **V-12PPS6-TK**

取付け終了後は、必ずこの説明書をお客様にお渡しください。

取付けを始める前に、誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を梱包外側の「警告」「注意」で説明しておりますので、この説明書とともによくお読みになり、正しく安全に取付けてください。

- 電気工事は電気工事士の方が実施してください。
- この製品は浴室に取付けてください。それ以外の用途には使用しないでください。故障の原因となります。
- 直接屋外に排気する場合、雨水浸入防止のためシステム部材（ウェザーカバーなど）を取付けてください。
- 外風の強い場所（地域・高層建築物）では耐外風高性能フードを取付けることをおすすめします。
- この製品の運転・停止にはシステム部材または市販のスイッチが必要です。

お願い

- 高温（40℃以上）になるところに取付けしないでください。（故障の原因になります）
- 塩害、温泉害の発生している場所には取付けしないでください。（故障の原因になります）
- システム部材（ウェザーカバーなど）は壁厚にあったものを選んでください。（壁厚により取付けられないものがあります）
- 壁板は、振動・共鳴音防止のため強度のあるものを取付けてください。
- 効果的な換気を行うために給気口を設けてください。

安全のために必ず守ること ⇒ 梱包箱を確認ください

外形寸法図 ⇒ 梱包箱を確認ください

取付方法

⚠注意

- 本製品は壁取付専用です。天井には取付けしないでください（シャッターが開かないため、換気風量が確保できなくなります）

1.取付前の準備

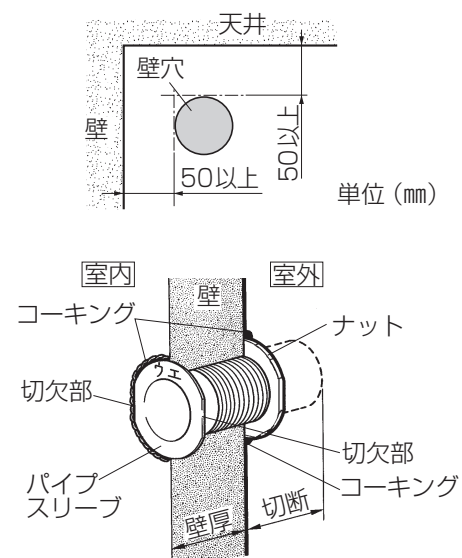
壁穴へのパイプスリーブ（付属部品）の固定

- 右図のようにパイプスリーブを取付ける。パイプスリーブの取付けはタカラスタンダード指定の説明書に従ってください。

お願い

- 必ず床面より1800mm以上のところに取付けてください。
- パイプスリーブは雨水の浸入を防ぐため屋外側に下りこう配（1/50～1/100）をつけ、固定してください。
- ナットは確実に締付けてください。締付けが不十分ですと振動したり、異常音が発生する原因になります。
- 切欠部が必ず両横にきていることを確認してください。他の方向では本体が取付けられません。
- 本体はグリルの破損（傷付き）、風圧式シャッターの変形がないよう保管してください。

- コーキング処理を施す。



2.電気工事

⚠警告

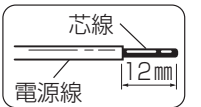
- 交流100Vを使用する（直流や交流200Vを使用すると感電の原因になります）

⚠注意

- 電気工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う（接続不良や誤った電気工事は、感電・火災の原因になります）
- 電気工事は電気工事店に依頼する（感電の原因になります）

■電線同士の接続を行う場合は電気工事士の方が「電気設備に関する技術基準を定める省令（及び同解説）」及び「内線規程」に従い実施してください。

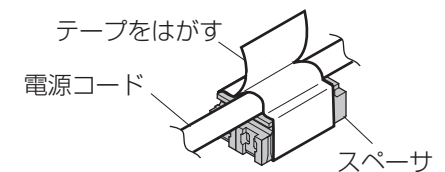
- 市販のスイッチを使用される場合は適切なスイッチを組合わせて結線してください。
- コネクタへの電源接続は、屋内配線用ボックス内で行ってください。また、点検のできる場所で行ってください。（内線規程により、点検できない場所での電源接続は禁止されています）
- 電源接続部に張力が加わらないよう結線してください。
- 電源線の先端は右図に合わせて皮むきしてください。
 - 電源線はVVVF φ1.6、φ2.0 2芯をご使用ください。
 - 皮むき寸法を必ず守ってください。



※この製品は電気用品安全法の二重絶縁構造に適合しており、アース工事不要です。

3.本体の取付け

- 本体からグリルをはずす。
- 電源コードからスペーサ（付属部品）をはずす。



- 電源コードを電源コード用壁穴に通す。
- 本体の上下を確認してパイプスリーブに差し込み、付属の木ネジ2本で本体を固定する。
 - 左右の取付用穴をご使用ください。必要に応じて上下部ネジ穴をご使用ください。
- グリルを本体に取付ける。
 - グリルの方向を確認して本体に取付けます。
- スペーサ（付属部品）を必ず電源コードのコネクタに取付ける。
 - 電源コードを壁穴に通した後、取付けてください。
 - スペーサ・コネクタには方向性があります。
 - (1) スペーサの切欠き部とコネクタ凸部を合わせて差し込む。（図①）
 - (2) スペーサ凸部とコネクタの切欠き部を合わせて差し込む。（図②）
 - (3) 確実に取付けられていることを確認する。

お願い

- レバー部に力を加えないでください。力を加えるとコネクタがはずれることがあります。

- 結線をする。（電気工事は電気工事士の方が実施してください）

- 電源線をコネクタに差し込む。

お願い

- 電源線の皮むき部分を確実に差し込み、コネクタより出ないようにしてください。
- 電源線は軽く引っ張ってコネクタに確実に固定されていることを確認してください。
- 電源線をコネクタよりはずす場合はマイナスドライバーでボタン部を押しながら電源線を引き抜いてください。

- 以上の取付けが終了した後、本体とグリルが確実に取付けられているか確認する。

- 試運転を行う。

- 換気扇が運転・停止、シャッターが開・閉するかを確認してください。
- 異常な音・振動などがなければ確認してください。

